



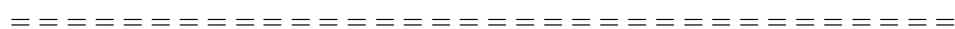
地域日本語支援ニュース こだま 第 378 号

2020.3.26



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。



■AJALT からのお知らせ■

“生きる力”を謳い、日本の小・中・高等学校各教科の指導要領が新しくなりました（文部科学省平成 29・30 年改訂学習指導要領）。移行措置期間を経て、来月から、新要領準拠の教科書で授業がスタートします。小学校国語でも 4 年生以上の学習漢字が変わりますが、これに合わせて、この度 AJALT 著作の外国人児童のための漢字学習教材「かんじだいすき」(四)(五)(六)を改訂いたします。

.....

新学習指導要領 と「かんじだいすき」シリーズの改訂

公益社団法人 国際日本語普及協会 (AJALT)

◆小学校で学ぶ漢字は 1006 字から 1026 字へ

改訂学習指導要領では小学校の学習漢字総数が 20 字増え、1026 字となりますが、背景に社会科の学習があります。従来の社会科では、日本の都道府県について 6 学年修了までに全体構成がわかればよいとされていました。しかし、新要領ではその名称と位置の認識を 4 年生までに確実にした上で、以後、全体的な視野の中で地域社会の特色を調べ、知っていくことが重視されています。このため、国語でも、4 年生までに 47 都道府県の表記がすべて学べるよう学習漢字が再編成されました(※1)。なお、常用漢字総数 2136 字は変わりませんので、中学校 3 年間で習う漢字は、従来の 1130 字から 1110 字となります(※2)。

◆4年生に加わる県名の漢字と4・5・6学年間の漢字の移動

都道府県名の漢字には、「東京」「青森」「広島」など、すでに1～3年生で既習のものも多くありますが、47の名称すべてをカバーするには、未だいくつもの漢字が必要です。そのため、今回の改訂要領では、従来の5、6年生から5字、さらにこれまで中学校で習っていた20字が新たに4年生に加われました。また、4年生の学習量が多くなりすぎないように、4・5・6年生の間での漢字の移動もありました。

新学習指導要領のもとで学ぶ漢字をまとめると以下のようになります。

【4年生】200字から202字へ：

「賀群徳富」(旧5年生より)／「城」(旧6年生より)／「茨媛岡潟岐熊香佐崎崎滋鹿縄井沖栃奈梨阪阜」(旧中学生より)

【5年生】185字から193字へ：

「圀紀喜救型航告殺市史象賞貯停堂得毒粉費」(旧4年生より)

【6年生】181字から191字へ：

「胃腸」(旧4年生より)／「恩券承舌銭退敵俵預」(旧5年生より)

◆日本語を母語としない子どものために

今回の改訂学習指導要領での都道府県の扱いは、日本人児童が小学校卒業時に自国の都道府県について十分な認識を持っていないという実情を背景としています。海外からやって来て日本の学校で学ぶ子どもたちにとっては、より負担が大きくなるケースも予想されます。AJALT 著作の「かんじだいすき」シリーズでは、以前から中学進学に備え「中学に向けて かんじだいすき 社会・理科編」の中に、日本地図と地名等の学習頁を組み込んできました。この度の改訂に際しては4年生の学習漢字を扱う(四)巻にも、都道府県の頁を掲載します。

◆学習漢字数と抽象語彙の増加に対応して

「かんじだいすき」(四)(五)(六)各巻は、今回の学年間の漢字の移動を反映して改訂いたします。本シリーズでは、(一)巻から一貫して、音訓同時の紹介に

こだわらず、学校や日常の生活、教科学習で馴染みのある、よく使われる単語から導入します。例えば、「学」なら「学校」、「子」なら「子ども」を、まず取り上げています。単語を覚えたら、文レベルへと進みますが、4年生以上では、一冊の前半は読み学習、後半は書き学習と完全に二分し、読み学習を優先し、時差を置いて書き学習に進む学習方式を可能にしています。余裕がなければ、読み学習のみの選択も可能です。

豊富なイラストで漢字語彙の意味を伝えるように工夫していますが、抽象語彙が多くなる(四)(五)(六)については、理解の一助となるように別冊翻訳があります。既刊の英語訳、ポルトガル語訳に加えて、スペイン語・フランス語・ベトナム語を近く刊行の予定です。

(※1)：小学校1・2・3年生の学習漢字には変更はありません。

(※2)：中学校の改訂学習指導要領は移行措置期間を経て、2021年度より完全に移行します。

◇「かんじだいすき」(四)(五)(六)改訂版は、以下のホームページでもご案内してまいります。

<https://www.ajalt.org/textbook/kanji/>
